

千葉県における温室効果ガス排出量(2008年)

1 温室効果ガス排出量の実態

千葉県の2008年における温室効果ガスの総排出量は81,121千t-CO₂となり、基準年の74,282千t-CO₂より9.2%増加している。排出量のピークは2000年の83,788千t-CO₂。

表1 千葉県における温室効果ガス排出量の推移

(単位：千t-CO₂)

	1990年 (基準年)	2000年	2006年	2007年	2008年
温室効果 ガス排出量	74,282	83,788	79,255	83,075	81,121
基準年比(%)	—	+12.8	+6.7	+11.8	+9.2
目標値	2010年に1990年比で▲1.3%				

2 二酸化炭素排出量の推移

千葉県における1990年から2008年の排出部門別の二酸化炭素排出量は、2000年をピークに2006年までは減少傾向にあったが、2007年に81,157千t-CO₂と1990年以降で最も多い排出量となった。

しかしながら、2008年は景気低迷の影響もあり、79,203千t-CO₂と2002年と同程度の排出量となっている。

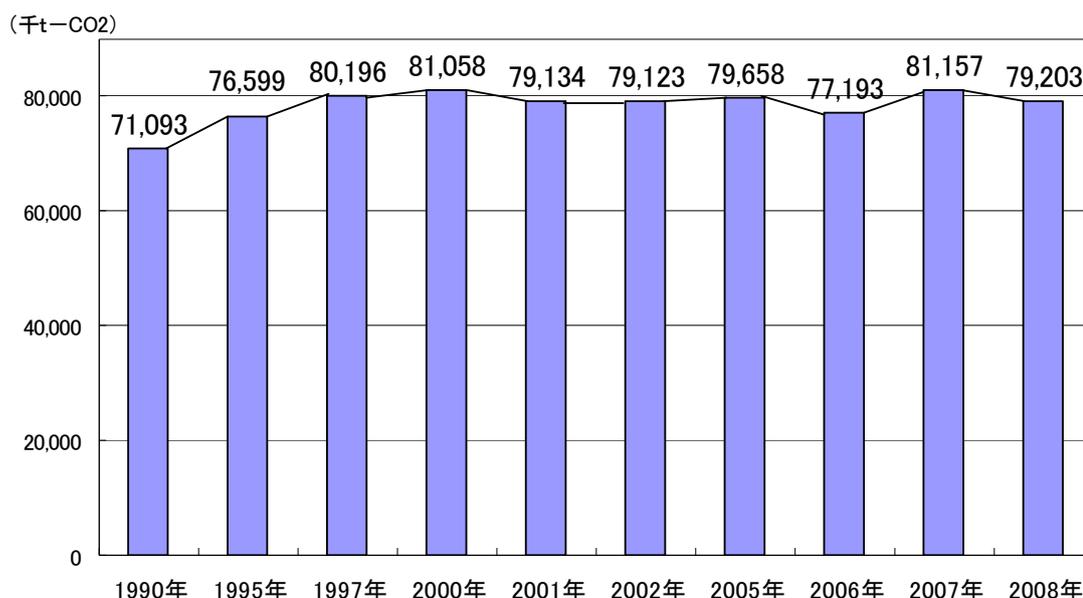


図1 千葉県における二酸化炭素排出量の推移

3 部門別の二酸化炭素排出量について

○産業部門

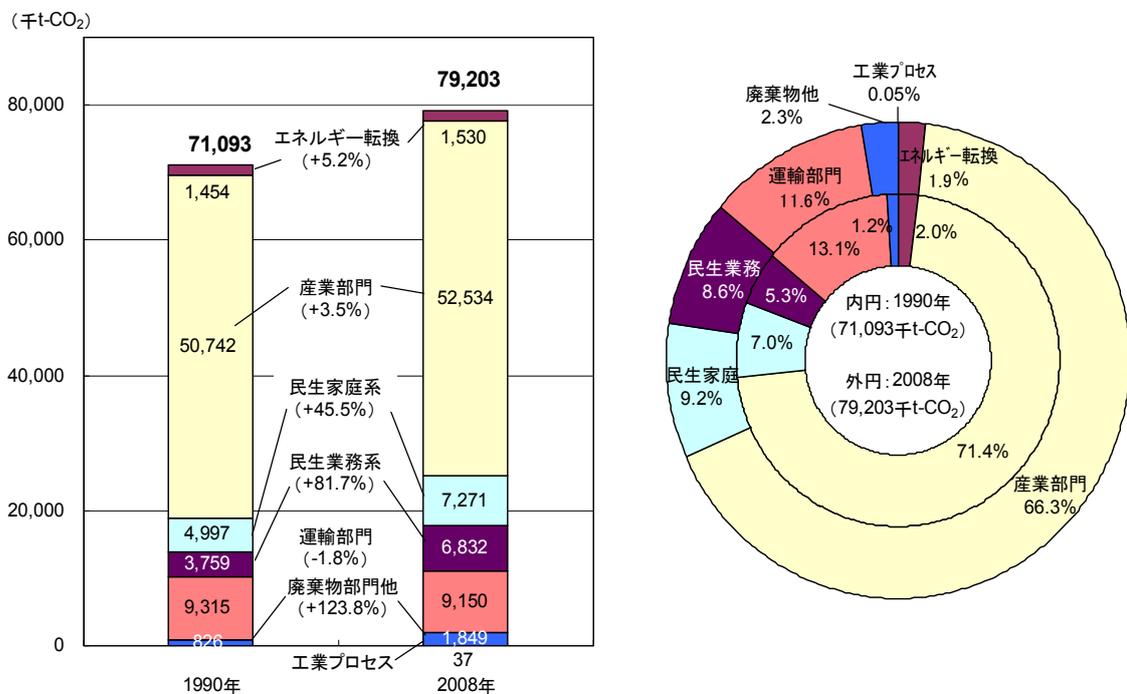
全排出量に占める割合(66%)は大きいですが、基準年に比べての伸び率(+3.5%)は小さい。

○民生業務部門、民生家庭部門、廃棄物+上下水道部門

全排出量に占める割合は小さい(民生業務(9%)、民生家庭(9%)、廃棄物+上下水道(2%))が、基準年に比べて伸び率(+46~124%)は大きい

○運輸部門

全排出量に占める割合は、産業部門に次いで多い(12%)が、排出量の推移は横ばい(▲1.8%)である。



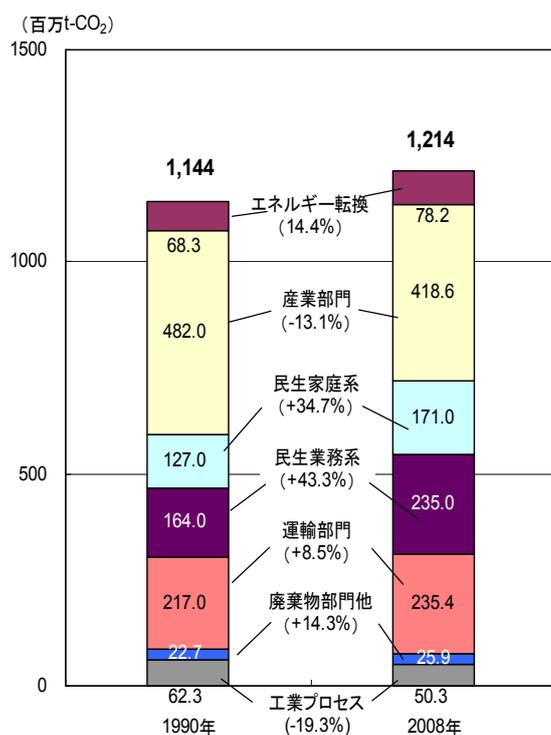
<対基準年比較>

図2 千葉県における部門別二酸化炭素排出量の伸びと構成比

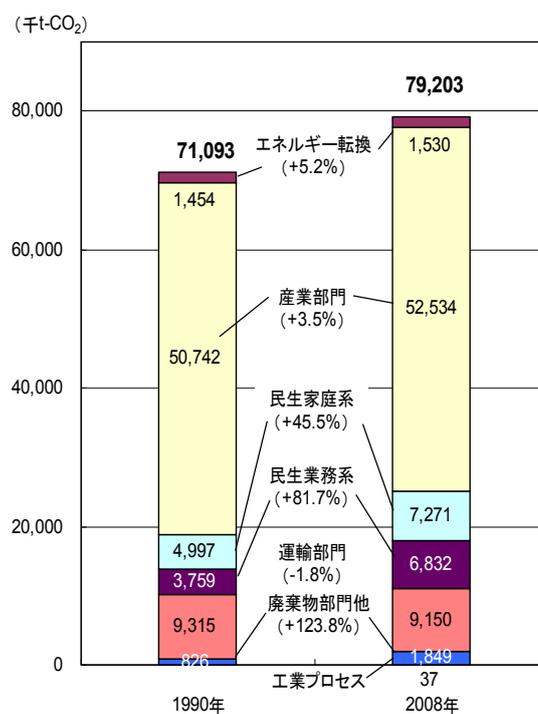
(参考) 千葉県と全国における二酸化炭素排出量の基準年(1990年)との比較

(単位：%)

	全 国	千 葉 県
産 業 部 門	▲ 13.1	+ 3.5
民 生 業 務 部 門	+ 43.3	+ 81.7
民 生 家 庭 部 門	+ 34.7	+ 45.5
エ ネ ル ギ ー 転 換 部 門	+ 14.4	+ 5.2
運 輸 部 門	+ 8.5	▲ 1.8



<全国>



<千葉県>

図3 千葉県と全国における二酸化炭素排出量の状況